

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月23日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ベクター

コード番号 2656 URL <http://www.vector.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶並 伸博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 梶並 京子

TEL 03-5337-6711

四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,183	△38.1	△220	—	△216	—	△263	—
24年3月期第2四半期	1,912	△0.7	91	△58.2	98	△55.8	47	△62.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△19.09	—
24年3月期第2四半期	3.46	3.45

(注)1 当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2 25年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在しますが、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,675	2,189	81.7
24年3月期	3,113	2,473	79.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,186百万円 24年3月期 2,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の配当予想につきましては、未定であります。

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	1,880	△34.1	△274	—	△270	—	△415	—	△30.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、通期の業績予想の開示に代えて、翌四半期(累計)の業績予想を開示しております。詳細は、5ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	13,927,400 株	24年3月期	13,927,400 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	127,200 株	24年3月期	127,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	13,800,200 株	24年3月期2Q	13,800,200 株

(注)当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成24年10月23日(火)……アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(その他)に関する事項	6
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	6
4. 四半期財務諸表	7
(1) 四半期貸借対照表	7
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
(7) 重要な後発事象	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要の顕在化はありましたが、海外経済が減速するなかで、歴史的な円高水準のもと輸出と生産の減少が響き、景気の下振れリスクが次第に高まってきました。このような環境下、前事業年度末における当社サーバーへの不正アクセス事案に伴う事後処理を終え、平成24年7月19日よりクレジットカードの取扱を再開いたしましたが、信用低下による痛手から立直るまでには至らず、当第2四半期累計期間の業績は、営業収益については1,183,414千円と前年同期比38.1%減と減収となりました。ただ、会計期間別の営業収益は、第1四半期(4～6月期)が前年同期比45.8%減であったのに対して第2四半期(7～9月期)は前年同期比28.9%減と減少幅は縮小しました。一方、当第2四半期累計期間の利益状況につきましても、営業収益が大幅に減少したため、人件費などの固定費負担を吸収することができず、営業損失220,718千円(前年同期は営業利益91,384千円)を計上することとなり、これに伴って経常損失216,564千円(前年同期は経常利益98,694千円)となりました。また、オンラインゲーム事業に係るソフトウェアの除却損及び減損損失など特別損失18,156千円の計上によって、税引前四半期純損失234,721千円(前年同期は税引前四半期純利益83,550千円)となりました。

この結果、法人税等を差引いて四半期純損失263,429千円(前年同期は四半期純利益47,750千円)となりました。

当第2四半期累計期間の主なセグメント別販売実績については、以下のとおりであります。

(単位：千円、%)

	平成25年3月期第2四半期累計期間		
	金額	前年同期比	構成比
オンラインゲーム事業	903,720	△34.5	76.4
ソフトウェア販売事業	215,294	△53.0	18.2
サイト広告販売事業	63,629	△13.2	5.4
その他	770	△61.2	0.1
合計	1,183,414	△38.1	100.0

オンラインゲーム事業

当社が新たな経営の柱として力を入れているオンラインゲーム事業については当第2四半期累計期間の販売金額は、903,720千円と前年同期比34.5%減となりました。

当該事業は、従来型オンラインゲーム(クライアントソフトをパソコンにダウンロードするもの)、ブラウザゲーム(パソコンのブラウザ上で起動するダウンロード不要のオンラインゲーム)、モバイルゲーム(従来型の携帯電話のほかスマートフォンと呼ばれる高機能携帯電話を使った交流サイトで遊べるソーシャルゲーム)の3つの分野から構成されています。

従来型オンラインゲーム(MMORPG)は、「晴空物語」(平成23年11月より正式サービス開始)及び「アークフロンティア」(平成24年7月より正式サービス開始)など、当第2四半期累計期間末時点で11タイトルを運営しました。

また、当社が運営する専門ポータルサイト「ブラゲタイム」上で展開するブラウザゲームは「神創詩篇ミッドガルド・サーガ」(平成24年5月より正式サービス開始)及び「ディヴァイン・グリモワール」(平成24年9月より正式サービス開始)など当第2四半期累計期間末時点で7タイトルを運営しました。ブラウザゲームは、従来型オンラインゲームに比べ表現力に劣る点や、ライトユーザーがスマートフォンを使ったモバイルゲームに移行している点等から、一時ほどの勢いがなくなりました。

一方、平成21年8月より開始したモバイルゲームは、当社の場合、主として携帯電話向けに交流サイト運営会社の専門サイトを通じて、「こいけん!」など当第2四半期累計期間末時点で5タイトルを運営しました。モバイルゲームはタイトルを自社開発しておりますが、競争激化による苦戦を余儀なくされております。

ソフトウェア販売事業

ソフトウェア販売事業については、当第2四半期累計期間の販売金額は215,294千円と前年同期比53.0%減となりました。うち、プロレジ・サービスの販売金額は204,540千円と前年同期比48.2%減となるなど、ソフトウェアのダウンロード販売事業は、ウイルス対策ソフトについては依然根強い需要がありますが、消費者の有料パソコンソフトに対する需要は、減少しつつあり、期半ばのクレジットカードの取扱再開後も不振が続いております。

サイト広告販売事業

当社の「Vector」サイト上で展開するサイト広告販売事業の当第2四半期累計期間の販売金額は、ソフトウェア販売の落込みと連動するかたちで63,629千円と前年同期比13.2%減となりました。キーワード広告（リスティング広告）については当該サイト広告販売事業の5割を占め、当該事業を下支えしました。

その他

その他の当第2四半期累計期間の販売金額は、他社サーバー運用受託収入などによって770千円と前年同期比61.2%減となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

○財政状況の変動状況

当第2四半期累計期間末(平成24年9月30日)における資産合計は、2,675,272千円となり、前事業年度末に比べ438,581千円減少しました。

(資産)

流動資産については2,124,266千円と前事業年度末に比べ325,597千円減少しました。うち、有価証券が前事業年度末に比べ199,896千円増加しましたが、現金及び預金が前事業年度末に比べ376,901千円減少したほか、売掛金が前事業年度末に比べ51,864千円減少しました。なお、固定資産については551,005千円と前事業年度末に比べ112,984千円減少しました。

(負債)

負債については流動負債が462,631千円と前事業年度末に比べ158,435千円減少したことなどで、負債合計は486,002千円と前事業年度末に比べ154,725千円減少しました。

(純資産)

純資産については株主資本は2,224,325千円と前事業年度末に比べ263,429千円減少しました。

なお、負債合計の負債純資産合計に占める割合が前事業年度末の20.6%から18.2%に低下し、自己資本比率は、前事業年度末の79.3%から81.7%に2.4%向上しました。

○キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間において現金及び現金同等物は、期末残高が1,057,530千円と期首残高の1,634,422千円に比べ576,891千円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期累計期間は税引前四半期純損失234,721千円の計上、減価償却費177,030千円の計上などで小計段階で88,160千円の支出となりましたが、法人税等の還付などがあり、差引き66,234千円の支出(前年同期は180,100千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却による収入400,000千円、有価証券の取得による支出600,000千円、無形固定資産(ソフトウェア)取得による支出110,640千円などで、差引き510,640千円の支出(前年同期は41,255千円の支出)となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせた純現金収支(フリーキャッシュ・フロー)は、576,874千円の赤字(支出超過)となり、キャッシュ残高の減少要因となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により16千円の支出(前年同期は68,774千円の支出)となり、その分キャッシュ残高の減少要因となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社は、従来、決算発表時に翌期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を開示いたしていましたが、当期につきましては、四半期決算発表時に、翌四半期累計期間の業績予想を開示させていただくことといたしました。

これは、平成24年3月に発生いたしました当社サーバーへの不正アクセス事案の業績に対する影響度合いが未だに予想しにくいことに加え、当社を取り巻く事業環境が、短期的に大きく変動する恐れが出てきており、投資家の皆様の投資判断に資するだけの信頼性の高い数値を算出することが、極めて困難になっていることによるものであります。なお、実際の業績が、開示された予想に対して大きく異なることが見込まれる場合は、速やかに業績予想の修正を開示することといたします。

また、配当につきましては、業績を考慮した剰余金配当を実施することを基本方針としておりますが、現時点では平成25年3月期期末配当については未定であります。配当方針を決定次第、速やかに開示いたします。なお、当社は中間配当制度を採用しておりますが、中間配当は実施いたしません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、当第2四半期累計期間は該当する資産がなかったため、当該変更による影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,404,102	1,027,201
売掛金	413,570	361,706
有価証券	430,432	630,329
その他	201,757	105,029
流動資産合計	2,449,863	2,124,266
固定資産		
有形固定資産	64,498	50,455
無形固定資産		
のれん	1,562	—
ソフトウェア	390,089	359,399
その他	63,197	28,296
無形固定資産合計	454,850	387,696
投資その他の資産	144,641	112,853
固定資産合計	663,990	551,005
資産合計	3,113,854	2,675,272
負債の部		
流動負債		
買掛金	160,749	138,815
未払法人税等	4,415	3,566
賞与引当金	40,508	29,728
情報セキュリティ対策引当金	110,000	77,125
その他	305,393	213,395
流動負債合計	621,067	462,631
固定負債		
退職給付引当金	19,660	22,106
その他	—	1,264
固定負債合計	19,660	23,370
負債合計	640,728	486,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,246	1,006,246
資本剰余金	1,395,244	1,395,244
利益剰余金	181,215	△82,214
自己株式	△94,952	△94,952
株主資本合計	2,487,755	2,224,325
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△17,051	△37,791
評価・換算差額等合計	△17,051	△37,791
新株予約権	2,422	2,736
純資産合計	2,473,126	2,189,270
負債純資産合計	3,113,854	2,675,272

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	1,912,674	1,183,414
営業費用	※ 1,821,290	※ 1,404,132
営業利益又は営業損失(△)	91,384	△220,718
営業外収益		
受取利息	3,839	1,783
受取配当金	61	66
為替差益	1,950	1,321
その他	1,458	982
営業外収益合計	7,310	4,153
営業外費用		
雑損失	0	—
営業外費用合計	0	—
経常利益又は経常損失(△)	98,694	△216,564
特別利益		
投資有価証券売却益	1,440	—
特別利益合計	1,440	—
特別損失		
固定資産除却損	9,159	7,766
減損損失	—	6,218
義援金	7,424	—
解約違約金	—	3,955
その他	—	216
特別損失合計	16,583	18,156
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	83,550	△234,721
法人税、住民税及び事業税	22,083	1,145
法人税等調整額	13,716	27,563
法人税等合計	35,800	28,708
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,750	△263,429

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	83,550	△234,721
減価償却費	215,442	177,030
減損損失	—	6,218
のれん償却額	9,375	1,562
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,518	2,445
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,069	△10,780
受取利息及び受取配当金	△3,900	△1,849
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,440	—
固定資産除却損	9,159	7,766
情報セキュリティ対策引当金の増減額(△は減少)	—	△32,874
売上債権の増減額(△は増加)	28,583	108,370
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,126	△14,605
預り金の増減額(△は減少)	△14,530	△74,229
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,946	△23,185
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△6,015
その他	△8,597	6,705
小計	310,020	△88,160
利息及び配当金の受取額	4,559	1,882
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△134,479	20,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	180,100	△66,234
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△100,662	△600,000
有価証券の売却による収入	300,000	400,000
投資有価証券の売却による収入	1,440	—
有形固定資産の取得による支出	△7,583	—
無形固定資産の取得による支出	△234,205	△110,640
長期前払費用の取得による支出	△245	—
定期預金の預入による支出	—	△200,000
貸付けによる支出	△299,865	—
貸付金の回収による収入	299,865	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,255	△510,640
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△68,774	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,774	△16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	70,070	△576,891
現金及び現金同等物の期首残高	1,506,614	1,634,422
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,576,684	※ 1,057,530

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
※ 営業費用の主なもの	※ 営業費用の主なもの
ソフトウェア販売原価 293,081千円	ソフトウェア販売原価 151,263千円
オンラインゲームロイヤリティ 293,476	オンラインゲームロイヤリティ 232,733
コンテンツ費用 2,435	コンテンツ費用 2,427
支払手数料 212,295	支払手数料 104,725
広告宣伝費 213,721	広告宣伝費 201,337
役員報酬 25,493	役員報酬 22,339
給与手当・賞与 275,601	給与手当・賞与 262,405
株式報酬費用 499	株式報酬費用 314
賞与引当金繰入 35,825	賞与引当金繰入 25,363
退職給付費用 2,286	退職給付費用 2,549
福利厚生費 48,324	福利厚生費 44,964
業務委託費 8,182	業務委託費 10,009
通信費 81,596	通信費 73,875
租税公課 6,517	租税公課 4,550
減価償却費 215,442	減価償却費 177,030
長期前払費用償却費 1,668	長期前払費用償却費 821
のれん償却額 9,375	のれん償却額 1,562
保守修理費 953	保守修理費 466
旅費交通費 2,184	旅費交通費 2,485
地代家賃 45,359	地代家賃 45,359
賃借料 —	賃借料 87
水道光熱費 5,574	水道光熱費 5,690
消耗品費 867	消耗品費 1,027

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
※現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在)	※現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年9月30日現在)
現金及び預金 1,546,376千円	現金及び預金 1,027,201千円)
中期国債ファンド(有価証券勘定) <u>30,308</u>	預入期間が3ヵ月を超える定期預金 △200,000
現金及び現金同等物 1,576,684	金銭信託(有価証券勘定) 200,000
	中期国債ファンド(有価証券勘定) <u>30,329</u>
	現金及び現金同等物 1,057,530

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	オンラインゲ ーム事業	ソフトウェア 販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,379,315	458,101	73,269	1,910,686	1,987	1,912,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,379,315	458,101	73,269	1,910,686	1,987	1,912,674
セグメント利益又は セグメント損失(△)	62,880	41,228	44,412	148,521	△2,401	146,120

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、個人向け会員制ブログサービス、他社サーバー運用管理受託業務などを含んでおります。

2. 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	148,521
「その他」の区分の損失(△)	△2,401
全社費用(注)	△54,736
四半期損益計算書の営業利益	91,384

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	オンラインゲーム事業	ソフトウェア販売事業	サイト広告販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	903,720	215,294	63,629	1,182,644	770	1,183,414
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	903,720	215,294	63,629	1,182,644	770	1,183,414
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△176,501	△32,073	37,192	△171,382	36	△171,345

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、他社サーバ運用管理受託業務などを含んでおります。

2. 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△171,382
「その他」の区分の利益	36
全社費用(注)	△49,372
四半期損益計算書の営業損失(△)	△220,718

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて当社が保有する著作権並びに一部タイトルの終了決定に伴うソフトウェアの減損処理を行いました。

なお、当該減損処理の計上額は、6,218千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

平成24年5月18日開催の取締役会決議により、平成24年10月1日付で1株を100株に株式分割しました。これにより、発行済株式総数は13,788,126株増加し、13,927,400株となりました。